

中期目標の達成状況報告書 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	1 頁・7 行	学内共同施設	学内共同 <u>教育研究</u> 施設
2	1 頁・8 行	生命資源研究支援センター	生命資源研究・ <u>支援</u> センター
3	11 頁・ 資料 2-1-P・ 薬学部・計	<u>126</u>	<u>133</u>
4	11 頁・ 資料 2-1-Q・ 平成 18 年度・計	<u>1, 738</u>	<u>1, 741</u>
5	16 頁・ 資料 3-1-E・平成 19 年度・項目名	特別支援 <u>学校</u> 教育専攻	特別支援教育専攻
6	17 頁・ 資料 3-1-L・ 枠内の項目名	必修科目の単位を <u>取得</u> する	必修科目の単位を <u>修得</u> する
7	18 頁・ 資料 3-1-M・平成 14 年度・項目名	臨床薬専攻	臨床薬 <u>学</u> 専攻
8	18 頁・ 資料 3-1-M・特記 事項	生命資源・支援センター	生命資源 <u>研究</u> ・支援センター
9	20 頁・ 資料 3-1-S・衝撃 エネルギー講座	「衝撃エネルギーの深化と応用」	「衝撃エネルギー <u>科学</u> の深化と応用」
10	25 頁・ 資料 4-2-C・ 産業創造工学専攻	<u>物質生命化学講座</u>	<u>物質生命化学講座</u>
11	25 頁・ 資料 4-2-C・ 応用数理講座	最先端理論 <u>め</u> での	最先端理論 <u>ま</u> での
12	28 頁・ 計画 4-3・ 本文 12～13 行	学生による査読論文・国際会議発表(資 料 4－3－ <u>F</u>)	学生による査読論文・国際会議発表(資 料 4－3－ <u>G</u>)

13	28 頁・ 計画 4-3・ 本文 13 行	国際学会発表（資料 4－3－ <u>G</u> ）	国際学会発表（資料 4－3－ <u>H</u> ）
14	28 頁・ 計画 4-3・ 本文 13～14 行	国内学会発表（資料 4－3－ <u>H</u> ）	国内学会発表（資料 4－3－ <u>I</u> ）
15	28 頁・ 計画 4-3・ 14～15 行	医療施設との共同研究による学生の成果発表が活発である（資料 4－3－ <u>I</u> ）	医療施設との共同研究による学生の成果発表が活発である（資料 4－3－ <u>F</u> ）
16	29 頁・ 資料 4-3-C・ 発生医学との融合	生命資源・支援センター	生命資源 <u>研究</u> ・支援センター
17	31 頁・ 資料 4-3-M・ 病態制御学専攻	開発について指導する。 <u>。</u>	開発について指導する。
18	37 頁・ 資料 5-2-B・ 平成 19 年度	修了判定基準 <u>の</u> 策定し、	修了判定基準 <u>を</u> 策定し、
19	39 頁・ 資料 6-2-A・ 2.	評価報告 <u>賞</u>	評価報告 <u>書</u>
20	39 頁・ 資料 6-2-A・ 出典	「 <u>起</u> 業等インターンシップ実施要領」	「 <u>企</u> 業等インターンシップ実施要領」
21	44 頁・ 資料 7-3-B・ 設問 3	必要な教育をど <u>う</u> ように・・	必要な教育をど <u>の</u> ように・・
22	45 頁・ 資料 7-4-C・ 枠内の項目名	675～729 点 <u>以上</u>	675～729 点
23	45 頁・ 資料 7-4-C・ 枠内の項目名	600～674 点 <u>以上</u>	600～674 点
24	49 頁・ 計画 1-2・ 本文 6 行	社会文化研究科	社会文化 <u>科学</u> 研究科
25	51 頁・ 資料 1-2-H・ 枠内の項目名	社会文化研究科	社会文化 <u>科学</u> 研究科

26	51 頁・ 資料 1-2-H・ 全体・入学定員	<u>634</u>	<u>604</u>
27	51 頁・ 資料 1-2-H・ 全体	4 月入学志願者・1 次 <u>847</u>	4 月入学志願者・1 次 <u>763</u>
28	51 頁・ 資料 1-2-H・ 全体	4 月入学志願者・3 次 <u>10</u>	4 月入学志願者・3 次 <u>6</u>
29	51 頁・ 資料 1-2-H・ 全体・志願者計	<u>938</u>	<u>850</u>
30	51 頁・ 資料 1-2-H・ 全体・倍率	<u>1.5</u>	<u>1.4</u>
31	52 頁・ 資料 1-2-I・ 枠内の項目名	社会文化研究科	社会文化 <u>科学</u> 研究科
32	52 頁・ 資料 1-2-J・ 枠内の項目名	社会文化研究科	社会文化 <u>科学</u> 研究科
33	52 頁・ 資料 1-2-K・ 枠内の項目名	社会文化研究科	社会文化 <u>科学</u> 研究科
34	52 頁・ 資料 1-2-L・ 枠内の項目名	社会文化研究科	社会文化 <u>科学</u> 研究科
35	53 頁・ 資料 1-2-M・ 枠内の項目名	社会文化研究科	社会文化 <u>科学</u> 研究科
36	58 頁・ 資料 2-2-E・ 枠内の項目名	675～729 点 <u>以上</u>	675～729 点
37	58 頁・ 資料 2-2-E・ 枠内の項目名	600～674 点 <u>以上</u>	600～674 点
38	65 頁・ 資料 2-8-C・ PBL の事例紹介	大学院自然研究科	大学院自然 <u>科学</u> 研究科

39	68 頁・ 資料 3-1-B・ 教育学研究科	特別支援 <u>学校</u> 教育専攻	特別支援教育専攻
40	71 頁・ 資料 3-1-H・ 教育改革事業	アーキテクト育成	アーキテクト育成 <u>プロジェクト</u>
41	73 頁・ 資料 3-2-G・ 医療施設	・・再春荘病院熊本市・・	・・再春荘病院、 <u>熊</u> 本市・・
42	79 頁・ 資料 4-2-F・ 鹿児島大学	環境問題と法」	<u>「</u> 環境問題と法」
43	81 頁・ 資料 5-1-C・ 異分野融合講義	・・教育面での <u>協働</u>	・・教育面での <u>協働</u>
44	83 頁・ 資料 5-2-B・ 表中	<u>2 時～4 時</u>	<u>14 時～16 時</u>
45	89 頁・ 資料 5-7-J・ 文学研究科	「ラーナーオーノミーを育てる・・」	「ラーナーオー <u>ト</u> ノミーを育てる・・」
46	89 頁・ 資料 5-7-J・ 枠内の項目名	社会文化研究科	社会文化 <u>科学</u> 研究科
47	91 頁・ 計画 6-2・ 本文 4 行	改訂版 KU <u>;</u> TO	改訂版 KU <u>;</u> TO
48	94 頁・ 資料 1-1-C・教育改 革推進体制図	大学評価 <u>推進</u> 会議	大学評価会議
49	96 頁・ 資料 1-3-D・ PBL の事例紹介(学 外から)	高知大学大学教育創造	高知大学大学教育創造 <u>センター</u>
50	96 頁・ 資料 1-3-D・ PBL の事例紹介(学 外から)	東京大学工学部システム創成学科 <u>学科</u>	東京大学工学部システム創成学科

51	96 頁・ 資料 1-3-D・ PBL の事例紹介(学 外から)	中部大学工学部・ <u>機</u> 械工学科	中部大学工学部機械工学科
52	96 頁・ 資料 1-3-D・ PBL の事例紹介(学 内から)	<u>本</u> 熊本大学	熊本大学
53	103 頁・ 資料 3-3-C・ 自然科学研究科	「衝撃エネルギーの深化と応用」	「衝撃エネルギー <u>科学</u> の深化と応用」
54	106 頁・ 資料 4-1-G・ 表中	<u>週</u> 日利用は毎日 160 万件。	<u>平</u> 日利用は毎日 160 万件。
55	106 頁・ 資料 4-1-G・ 表中	<u>2 時～4 時</u>	<u>14 時～16 時</u>
56	107 頁 資料 4-2-B・ 平成 17 年度	OS のセキュリ <u>ュ</u> ティ	OS のセキュリティ
57	116 頁・ 資料 6-2-B・ PBL の事例紹介	大学院自然研究科	大学院自然 <u>科学</u> 研究科
58	117 頁 資料 6-3-C・10	改善を要する認められる	改善を要する <u>と</u> 認められる
59	118 頁・ 計画 6-4・ 本文 5 行	「教員個人情報」	「教員個人 <u>活動</u> 情報」
60	125 頁・ 資料 1-2-C・ 表中	<u>週</u> 日利用は毎日 160 万件。	<u>平</u> 日利用は毎日 160 万件。
61	125 頁・ 資料 1-2-C・ 表中	<u>2 時～4 時</u>	<u>14 時～16 時</u>
62	127 頁・ 資料 1-3-D・ マテリアル工学科	研究棟リフレッシュ <u>ス</u> ホール	研究棟リフレッシュホール
63	128 頁・ 資料 1-4-A・ 工学部	リフレッシュ <u>ス</u> ホール	リフレッシュホール

64	128 頁・ 資料 1-4-B・ 全体 平成 19 年度	合計 <u>7.396</u> m ²	合計 <u>7,396</u> m ²
65	133 頁・ b)「小項目の 2」・ 本文 2 行	設置して機能 <u>される</u>	設置して機能さ <u>せる</u>
66	142 頁・ 資料 5-1-G・ 女子 100mハードル第 2 位	陸上競技対抗手権大会	陸上競技対抗 <u>選</u> 手権大会
67	144 頁・ 資料 5-3-A・ 平成 19 年度	学生イベント（クマナビ） <u>を</u> 学生に	学生イベント（クマナビ） <u>が</u> 学生に
68	145 頁・ 計画 6-1・ 本文 7 行	学外接続サービスを拡充した（資料 6-1-C）	学外接続サービスを拡充した（資料 6-1-C <u>及び D</u> ）
69	145 頁・ 資料 6-1-A・ 枠内項目名	社会文化研究科	社会文化 <u>科学</u> 研究科
70	145 頁・ 資料 6-1-B・ 出典	出典： <u>学務課</u> 資料	出典： <u>教務課</u> 資料
71	145 頁・ 資料 6-1-B・ 枠内項目名	社会文化研究科	社会文化 <u>科学</u> 研究科
72	146 頁・ 計画 6-2・ 本文 6 行	社会文化研究科	社会文化 <u>科学</u> 研究科
73	147 頁・ 資料 6-2-B・ 枠内項目名	社会文化研究科	社会文化 <u>科学</u> 研究科
74	147 頁・ 資料 6-2-C・ 枠内項目名	社会文化研究科	社会文化 <u>科学</u> 研究科
75	152 頁・ 資料 1-1-I・ 成果	設置の目的に沿って、 <u>設置の目的に沿って、</u>	設置の目的に沿って、
76	155 頁・ 計画 1-3・ 本文 5 行	政策創造研究 <u>教育</u> センター	政策創造研究センター

77	157 頁・ 資料 1-4-D・ 平成 17 年度・計	<u>151</u>	<u>121</u>
78	157 頁・ 資料 1-4-H・ 枠内の項目名	査読論文論文数	査読論文数
79	157 頁・ 資料 1-4-I・ 平成 18 年度・合計	<u>113</u>	<u>111</u>
80	158 頁・ 計画 1-5・ 本文 14 行	研究・支援センター	<u>生命資源</u> 研究・支援センター
81	158 頁・ 計画 1-5・ 本文 15 行	生命資源研究支援センター	生命資源研究・支援センター
82	160 頁・ 資料 1-6-F・ 15 年度比	平成 16 年度 <u>121</u>	平成 16 年度 <u>122</u>
83	178 頁・ (優れた点) 3.	研究・支援センター	<u>生命資源</u> 研究・支援センター
84	178 頁・ (特色ある点) 5.	生命資源研究支援センター	生命資源研究・支援センター
85	184 頁・ 資料 1-2-F・ 区分 S S 欄・ 学術面 <u>タイプ A</u>	作の書評等	作品の書評等
86	211 頁・ 計画 4-3・ 本文 7 行	本学は、 <u> </u>	本学は、
87	214 頁・ 計画 5-1・ 本文 2 行	評価おける	評価 <u>に</u> おける
88	219 頁・ 計画 1-1・ 本文 9 行	地方自治体	地方自治体 <u>等</u>
89	222 頁・ 計画 1-3・ 本文 12 行	熊大 LINK 構想	熊本大学 LINK 構想

90	223 頁・ 資料 1-3-C・ 平成 17 年度	沿岸域環境科学教育研究センタ	沿岸域環境科学教育研究センタ <u>ー</u>
91	223 頁・ 資料 1-3-C・ 平成 18 年度	沿岸域環境科学教育研究センタ	沿岸域環境科学教育研究センタ <u>ー</u>
92	225 頁・ 計画 2-1・ 本文 7 行	教育学部附属学校園 <u>園</u>	教育学部附属学校
93	225 頁・ 資料 2-1-E・ 資料名	教育学部附属学校園 <u>園</u>	教育学部附属学校
94	229 頁・ 資料 3-1-D・ 寄附講座名	太陽電池・環境自然エネルギー	太陽電池・環境自然エネルギー <u>ー</u>
95	232 頁・ 資料 4-1-C・ 表中 4 行目・カセ サート大学・協定 締結年・学術交流	平成 <u>16</u> 年	平成 <u>6</u> 年
96	232 頁・ 資料 4-1-C・表中 7 行目・同済大学・ 協定締結年・学術 交流	空欄	<u>平成 19 年</u>
97	232 頁・ 資料 4-1-C・表中 12 行目・大学名	University of Science, Vietnam <u>Hanoi</u> University, Hanoi	University of Science, Vietnam <u>National</u> University, Hanoi
98	232 頁・ 資料 4-1-C・表中 22 行目・ノースカ ロライナ大学シャ ーロット校・協定 締結年・学術交流	平成 <u>3</u> 年	平成 <u>2</u> 年
99	232 頁・ 資料 4-1-C・ 表中 24 行目・テキ サス大学ヘルスサ イエンスセンター サンアントニオ校	The University of Texas Health Center at San Antonio	The University of Texas Health <u>Science</u> Center at San Antonio

100	232 頁・ 資料 4-1-C・ 表中 31 行目・ボルドー国立電子情報 高等学院	Ecole Nationale Supérieure d' Electronique, Informatique & Radiocommunications de Bordeaux	Ecole Nationale Supérieure d' Electronique, Informatique & Radiocommunications de Bordeaux
101	232 頁・ 資料 4-1-C・表中 32～38 行目（ボルドー第一大学～ボ ルドー大学連合） すべて・協定締結 年・学術交流・学生 交流	平成 <u>18</u> 年	平成 <u>19</u> 年
102	234 頁・ 資料 4-1-E・ 韓国フォーラム・ 参加校	ソウル大学	ソウル大学校
103	236 頁・ 資料 4-2-B・ 資料名	寄 <u>付</u> 金	寄 <u>附</u> 金
104	236 頁・ 資料 4-2-B・ 表中	寄 <u>付</u> 金	寄 <u>附</u> 金
105	236 頁・ 資料 4-2-D 左列項目名	21 世紀 CO の件数	21 世紀 COE の件数
106	238 頁・ 計画 4-4・ 本文 1 行	短期留学 <u>生</u> 制度	短期留学制度
107	238 頁・ 計画 4-4・ 本文 8～9 行	留学生数は <u>293 名～303 名</u> で推移し	留学生数は <u>277 名～301 名</u> で推移し
108	238 頁・ 資料 4-4-A・ 左列項目	短期留学 <u>生</u> 制度	短期留学制度
109	239 頁・ 計画 4-5・ 本文 8 行	平成 19 年度の <u>103</u> 名に増加した。	平成 19 年度の <u>109</u> 名に増加した。

110	242 頁・ b)「小項目 4 の達成状況・本文 8 行	平成 19 年度の <u>103</u> 名に増加した。	平成 19 年度の <u>109</u> 名に増加した。
-----	---------------------------------	------------------------------	------------------------------

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 1-4・ 資料 1-1-C・ 枠内の項目名	<u>収容数</u> （人）	<u>現員</u> （人）
2	教育 1-8・ 資料 2-1-A・ 教育課程の編成図	学部共通及び学科ごとの専門基礎科目 <u>郡</u> を置き、・・・	学部共通及び学科ごとの専門基礎科目 <u>群</u> を置き、
3	教育 1-11・ 資料 2-1-F・ 履修コース欄 5 枠目	世界システム学コース	世界システム <u>史</u> 学コース
4	教育 1-11・ 資料 2-1-F・ 特徴欄 9 枠目・4 行	・・・自発性と創造性に優れた人材の養成 を <u>は</u> かる。	・・・自発性と創造性に優れた人材の養成 を <u>図</u> る。
5	教育 1-12・ 資料 2-2-A・ 特徴欄 7 枠目・1 行	<u>前</u> 前指導と事後指導の充実を・・・	<u>事</u> 前指導と事後指導の充実を・・・
6	教育 1-17・ 資料 3-2-C・ 備考欄・5 行	<u>習</u> 得	<u>修</u> 得

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 2-4・ 資料 1-1-D・ 枠内の項目名	<u>収容数</u>	<u>現員</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 4-4・ 分析項目 I・ 観点 2・8 行	・・・全学的教育課題の共有等 <u>が</u> 促進する とともに、・・・	・・・全学的教育課題の共有等 <u>を</u> 促進する とともに、・・・

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 7-17・ 資料 3-2-A・ 8 枠目・2 行	・・所定の手続きを経て DVD 録画で学習 できる <u>よう</u> ことを周知している。	・・所定の手続きを経て DVD 録画で学習 できることを周知している。

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 8-5・ 資料 1-1-C・ 11 項目	・・業界団体等を通じて普及 <u>し</u> 、社会に 貢献できる。	・・業界団体等を通じて普及 <u>させ</u> 、社会 に貢献できる。
2	教育 8-9・ 資料 1-2-B・7 行～	・定例レビュー <u>回</u> による教育内容の相互 点検	・定例レビュー <u>会</u> による教育内容の相互 点検
3	教育 8-10・ 資料 1-2-D・5 行	青山学院大学教授 <u>教同</u> 大学・・	青山学院大学教授・ <u>同</u> 大学・・
4	教育 8-18・ 資料 2-2-A・ 概要欄 9 枠目・2 行～	・・開講されている授業を選考の別なく <u>理由</u> することができる。	・・開講されている授業を選考の別なく <u>利用</u> することができる。

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 10-11・ 分析項目Ⅱ・ 観点 1・4 行	1) 1 年から 3 年まで教養教育と専門教育を <u>楔形</u> に配置し、・・・	1) 1 年から 3 年まで教養教育と専門教育を <u>くさび型</u> に配置し、・・・
2	教育 10-15・ 資料 2-2-A・ 教育課程上の取組 3 枠目	3 教養科目と専門科目の <u>楔形</u> 授業配置。	3 教養科目と専門科目の <u>くさび型</u> 授業配置。
3	教育 10-15・ 資料 2-2-A・ 概要 3 枠目・2 行	・・・教養教育科目と専門教育科目を <u>楔型</u> に配置し、・・・	・・・教養教育科目と専門教育科目を <u>くさび型</u> に配置し、・・・
4	教育 10-16・ 分析項目Ⅱ・ (2) 分析項目の水 準及びその判断理 由・2 行	各学科は、教養教育科目と専門教育科目の <u>楔形</u> 配置・・・	各学科は、教養教育科目と専門教育科目の <u>くさび型</u> 配置・・・

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 12-2・ 教育目的と特徴・ 11 行～	・・・教育学部特別教科（看護）とを統合し、・・・	・・・教育学部特別教科（看護） <u>教員養成課程</u> とを統合し、・・・
2	教育 12-3・ 分析項目 I・ 観点 1・4 行～	・・・教育学部特別教科（看護）を統合して保健学科を新設し、・・・	・・・教育学部特別教科（看護） <u>教員養成課程</u> を統合して保健学科を新設し、・・・
3	教育 12-3・ 分析項目 I・ 観点 1・8 行	保健学科における高等学校教諭一種免許（看護 <u>学</u> ）取得のための・・・	保健学科における高等学校教諭一種免許状（看護）取得のための・・・
4	教育 12-4・ 資料 1-1-C・ 教育目的 1 枠目・1 行～	・・・高等学校教諭一種（看護）の養成を目的とし、・・・	・・・高等学校教諭一種免許 <u>状</u> （看護）の養成を目的とし、・・・
5	教育 12-4・ 資料 1-1-C・ 取得可能な資格・ 免許 1 枠目・2 行～	助産師高等学校教諭一種免許（看護）	助産師、 <u>高等学校教諭一種免許状</u> （看護）
6	教育 12-4・ 資料 1-1-D・ 平成 18 年 収容定員計	1 0 3 2	1, <u>0</u> 3 2
7	教育 12-4・ 資料 1-1-D・ 平成 18 年現員計	1 0 7 9	1, <u>0</u> 7 9
8	教育 12-4・ 資料 1-1-D・ 平成 19 年 収容定員計	1 1 7 6	1, <u>1</u> 7 6
9	教育 12-4・ 資料 1-1-D・ 平成 19 年現員計	1 2 3 3	1, <u>2</u> 3 3

	頁数・行数等	誤	正
10	教育 12-6・ 資料 1-2-B(続き)・ 改善の状況 1 枠目・4 行	・ ・ 全国的にも特異な高等学校教諭第一種免許（看護）が取得・ ・	・ ・ 全国的にも特異な高等学校教諭一種免許 <u>状</u> （看護）が取得・ ・
11	教育 12-7・ 分析項目Ⅰ・ (2) 分析項目の水 準及びその判断理 由・4 行	また、全国的にも特異な高等学校教諭一種免許（看護）取得のための・ ・	また、全国的にも特異な高等学校教諭一種免許 <u>状</u> （看護）取得のための・ ・
12	教育 12-8・ 分析項目Ⅱ・ 観点 1・1 行	医学部では、1 年次から教養教育と専門科目の「くさび <u>形</u> カリキュラム」を編成し、・ ・	医学部では、1 年次から教養教育と専門科目の「くさび <u>型</u> カリキュラム」を編成し、・ ・
13	教育 12-12・ 資料 2-1-H・ 教育課程編成上の 特徴 1 枠目・5 行～	2) 教養教育科目と専門基礎科目、専門科目をくさび <u>形</u> に配置している。	2) 教養教育科目と専門基礎科目、専門科目をくさび <u>型</u> に配置している。
14	教育 12-13・ 資料 2-1-H・ 教育課程編成上の 特徴 1 枠目・5 行～	2) 教養教育科目と専門基礎科目、専門科目をくさび <u>形</u> に配置している。	2) 教養教育科目と専門基礎科目、専門科目をくさび <u>型</u> に配置している。
15	教育 12-13・ 資料 2-1-H(続き)・ 教育課程編成上の 特徴 1 枠目・5 行～	2) 教養教育科目と専門基礎科目、専門科目をくさび <u>形</u> に配置している。	2) 教養教育科目と専門基礎科目、専門科目をくさび <u>型</u> に配置している。
16	教育 12-14・ 資料 2-2-C・ 平成 16 年度 研究生数	0 (<u>2</u>)	0 (<u>0</u>)

	頁数・行数等	誤	正
17	教育 12-14・ 資料 2-2-C・ 平成 16 年度 全体数	0 (<u>2</u>)	0 (<u>0</u>)
18	教育 12-14・ 分析項目Ⅱ・ (2) 分析項目の水 準及びその判断理 由・1 行	1 年次から教養科目と専門科目の「くさ び <u>形</u> カリキュラム」を編成し、・・・	1 年次から教養科目と専門科目の「くさ び <u>型</u> カリキュラム」を編成し、・・・
19	教育 12-17・ 資料 3-1-D・ 学習指導法 13 枠目	情報セキュリティ教育	情報セキ <u>ュ</u> リティ教育
20	教育 12-22・ 資料 4-1-E・ 資格名 7 枠目	高等学校教諭一種免許（看護）	高等学校教諭一種免許 <u>状</u> （看護）
21	教育 12-28・ 質の向上度・ 事例 1・4 行～	・・・改組・ <u>総</u> 合して、平成 15 年 10 月に 設置された。	・・・改組・ <u>統</u> 合して、平成 15 年 10 月に 設置された。
22	教育 12-28・ 質の向上度・ 事例 1・6 行	・・・高等学校教諭一種免許（看護）が取 得可能な履修コースが・・・	・・・高等学校教諭一種免許 <u>状</u> （看護）が 取得可能な履修コースが・・・

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 14-4・ 資料 1-1-A・ 教育目的欄 3 枠目・2 行	・・創薬科学や <u>背名</u> 薬科学分野の・・	・・創薬科学や <u>生命</u> 薬科学分野の・・
2	教育 14-8・ 分析項目Ⅱ・ 観点 1・3 行	・・教養科目と専門科目がくさび <u>形</u> に配置され、・・	・・教養科目と専門科目がくさび <u>型</u> に配置され、・・
3	教育 14-8・ 資料 2-1-A・5 行～	・・薬物治療に貢献する臨床研究者として活躍する人材育成を目的とする。	・・薬物治療に貢献する <u>薬剤師</u> や臨床研究者として活躍する人材育成を目的とする。
4	教育 14-8・ 資料 2-1-C・ 資料の標題	卒業要件ならびに教養科目と専門科目の最低修得単位配分	卒業要件ならびに教養 <u>教育</u> 科目と専門 <u>教育</u> 科目の最低修得単位配分
5	教育 14-9・ 資料 2-1-C・ 区分欄 3 枠目	外国語科	外国語科 <u>目</u>
6	教育 14-9・ 資料 2-1-C・ 区分欄 3 枠目	必修外国	必修外国 <u>語</u>
7	教育 14-9・ 資料 2-1-C・ 薬科学科単位欄 4 枠目	20 単以上	20 単 <u>位</u> 以上
8	教育 14-9・ 資料 2-1-C・ 薬学科単位欄 6 枠目	<u>14 単位</u>	<u>専門基礎科目の必修が 14 単位</u> <u>専門科目の必修が 151 単位</u>
9	教育 14-9・ 資料 2-1-C・ 薬学科単位欄 7 枠目	<u>144 単位</u>	削除し斜線

	頁数・行数等	誤	正
10	教育 14-9・ 資料 2-1-C・ 薬学科単位欄 8 枠目	<u>158</u> 単位	<u>165</u> 単位
11	教育 14-9・ 資料 2-1-C・ 薬学科単位欄 9 枠目	<u>192</u> 単位以上	<u>199</u> 単位以上
12	教育 14-9・ 資料 2-1-C・ 創薬・生命薬科学 科単位欄 6 枠目	<u>14</u> 単位	<u>専門基礎科目の必修が 14 単位</u> <u>専門科目の必修が 27 単位</u>
13	教育 14-9・ 資料 2-1-C・ 創薬・生命薬科学 科単位欄 7 枠目	<u>27</u> 単位	削除し斜線
14	教育 14-9・ 資料 2-1-D・ 資料の標題	教養科目の構成	教養 <u>教育</u> 科目の構成
15	教育 14-10・ 資料 2-1-E・ 資料の標題	専門科目の構成	専門 <u>教育</u> 科目の構成
16	教育 14-10・ 資料 2-1-E・ 資料の項目欄	<u>科目区分</u>	削除
17	教育 14-10・ 資料 2-1-E・ 資料の項目欄	<u>科目名</u>	<u>区分</u>

	頁数・行数等	誤	正
18	教育 14-10・ 資料 2-1-E・ 資料の項目欄	薬学	薬学 <u>科</u>
19	教育 14-10・ 資料 2-1-E・ 資料の項目欄	創薬・生命薬科学	創薬・生命薬科学 <u>科</u>
20	教育 14-10・ 資料 2-1-E・ 科目名欄 4 枠目	卒業研究	卒業研究 <u>(特別実習)</u>
21	教育 14-10・ 資料 2-1-E・ 各科目の目標欄 1 枠目・1 行	薬学部の専門科目を学ぶ上で・・・	薬学部の専門 <u>基礎</u> 科目を学ぶ上で・・・
22	教育 14-10・ 資料 2-1-E・ 各科目の目標欄 2 枠目・7 行～	・・・研究者として不可欠な基礎知識の <u>修</u> 得を目標としている。	・・・研究者として不可欠な基礎知識の <u>習</u> 得を目標としている。
23	教育 14-11・ 資料 2-2-B・ 概要欄 2 枠目・2 行	少人での LTD 学習、PBL 教育、・・・	少人 <u>数</u> での LTD 学習、PBL 教育、・・・
24	教育 14-15・ 資料 3-2-A・ 実施内容欄 4 枠目・1 行	○創薬生命薬科学科学生に対して・・・	○創薬 <u>・</u> 生命薬科学科学生に対して・・・
25	教育 14-15・ 資料 3-2-A・出典	熊本大学概要、平成 19 教授会及び教育 委員会議事録より抜粋	熊本大学概要、平成 19 <u>年度</u> 教授会及び 教育委員会議事録より抜粋
26	教育 14-15・ 資料 3-2-B・出典	熊本大学便覧、図書館概要及平成 19 教 授会議事録より抜粋	熊本大学便覧、図書館概要及平成 19 <u>年</u> <u>度</u> 教授会議事録より抜粋

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 15-9・ 分析項目Ⅱ・ 観点1・2行	・・・修士（薬学）及び博士（ <u>薬学</u> ）を定 めている。	・・・修士（薬学）及び博士（ <u>生命科学</u> ） を定めている。
2	教育 15-10・ 資料 2-1-B・ 教育内容欄 1 枠目・2 行～	・・・「遺伝子解析及び遺伝子改変動物作 製 <u>実 習</u> 」・・・	・・・「遺伝子解析及び遺伝子改変動物作 製 <u>実習</u> 」・・・ (スペースの削除)
3	教育 15-10・ 資料 2-1-B・ 教育内容欄 2 枠目・2 行～	・・・細胞培養系を用いたリード化合物の <u>ス クリーニング法</u> に・・・	・・・細胞培養系を用いたリード化合物の <u>スクリーニング法</u> に・・・ (スペースの削除)
4	教育 15-10・ 資料 2-1-B・ 教育内容欄 3 枠目・3 行	・・・生物学的実験に精通する <u>人材</u> を育 成する。	・・・生物学的実験に精通する <u>人材</u> を育成 する。 (スペースの削除)
5	教育 15-13・ 資料 2-2-B・ 概要欄 7 枠目・2 行～	・・・国際学会参加費を支給する者選考す る・・・	・・・国際学会参加費を支給する者 <u>を</u> 選考 する・・・
6	教育 15-14・ 分析項目Ⅲ・ 観点1・4 行	② 発生学研究センターの教員に・・・	② 発生 <u>医</u> 学研究センターの教員に・・・
7	教育 15-21・ 分析項目Ⅳ・ 観点2・2 行～	・・・大学院生への独自のアンケート <u>の</u> を 行った。	・・・大学院生への独自のアンケートを行 った。
8	教育 15-28・ 質の向上度・ 事例3・2 行	薬研究センターのプロジェクト研究部 門で・・・	<u>創</u> 薬研究センターのプロジェクト研究 部門で・・・

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 1-9・ 分析項目Ⅱ (2) 分析項目の水 準及びその判断理 由・10 行	・ ・ 人文地理学・心理学、美術・美術史 など分野で ・ ・	・ ・ 人文地理学・心理学、美術・美術史 などの <u>分野</u> で ・ ・

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 3-8・ 分析項目 I・5 行	・・・国際シンポジウムに開催などに・・・	・・・国際シンポジウムの開催などに・・・

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 4-8・ 分析項目 I・5 行	・・国際シンポジウムに開催などに・・	・・国際シンポジウムの開催などに・・

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 6-3・ 分析項目 I・ 14 行目～	・ ・ 英文論集 (Taking Life and Death Seriously: Bioethics from Japan, Advances in Bioethics Series vol. 8, Elsevie, 2005) を刊行した。	・ ・ 英文論集 (Taking Life and Death Seriously: Bioethics from Japan, Advances in Bioethics Series vol. 8, Elsevier, 2005) を刊行した。
2	研究 6-3・ 分析項目 I・ 23 行～	・ ・ 初年度は新組織運営ため研究活動への時間が ・ ・	・ ・ 初年度は新組織運営 <u>の</u> ため研究活動への時間が ・ ・

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 7-8・ 資料 1-M・ 特記事項 5 行	・ ・ 平成 19 年度に設立されたバイオエレクトリス研究センター開設の契機となった。	・ ・ 平成 19 年度に設立されたバイオエレクトリ <u>クス</u> 研究センター開設の契機となった。
2	研究 7-11・ 分析項目 I (2) 分析項目の水 準及びその判断理 由・2 行～	・ ・ 教員が所属することとなった大学院自然科学と歩調を合わせ、・ ・	・ ・ 教員が所属することとなった大学院自然科学 <u>研究科</u> と歩調を合わせ、・ ・
3	研究 7-17・ 質の向上度の判断 事例 2・8 行～	・ ・ 平成 19 年度に設立されたバイオエレクトリス研究センター開設の契機となった（資料 1-M）。	・ ・ 平成 19 年度に設立されたバイオエレクトリ <u>クス</u> 研究センター開設の契機となった（資料 1-M）。

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 8-2・ 研究目的と特徴・ 18 行	・ ・ 科学技術の発展並び新分野の開拓、 具現化に貢献している。	・ ・ 科学技術の発展並びに新分野の開拓 <u>等</u> の具現化に貢献している。

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 10-7・ 分析項目Ⅱ・1行	・・資料 2－A に <u>しめ</u> す基準に従った。	・・資料 2－A に <u>示</u> す基準に従った。

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 11-2・ 研究目的と特徴・ 24 行	・・の画期的新薬創 <u>成</u> 研究・・	・・の画期的新薬創 <u>生</u> 研究・・
2	研究 11-6・ 分析項目Ⅰ・12 行	・・知的財産権 <u>所</u> 得状況のいずれについて ても・・	・・知的財産権 <u>取</u> 得状況のいずれについて ても・・
3	研究 11-7・ 分析項目Ⅱ・24 行	・・の画期的新薬創 <u>成</u> 研究・・	・・の画期的新薬創 <u>生</u> 研究・・
4	研究 11-9・ 分析項目Ⅱ・7 行	・・の画期的新薬創 <u>成</u> 研究・・	・・の画期的新薬創 <u>生</u> 研究・・
5	研究 11-10・ 質の向上度・ 事例 1・8 行	・・の画期的新薬創 <u>成</u> 研究・・	・・の画期的新薬創 <u>生</u> 研究・・
6	研究 11-10・ 質の向上度・ 事例 1・9 行	・・さまざまな新薬創 <u>成</u> 研究が行われた。	・・さまざまな新薬創 <u>生</u> 研究が行われた。